



病院名：大阪国際がんセンター

都道府県名：大阪府

都道府県の情報

都道府県内の総人口

8,771,242人(2024年7月1日)

がん死亡者数(%)

26,438人(0.3%)(2019年)

高齢化率^h

27.6%(2020年)

病院名：大阪国際がんセンター

—

都道府県名：大阪府

2019年データ

都道府県内のがん患者の状況

がん種	罹患者数	罹患率 (人/10万人)	死亡者数	死亡率 (人/10万人)
肺がん	9661人	109.7	5728人	66.3
大腸がん	11094人	125.9	3490人	40.4
胃がん	9417人	106.9	3072人	35.6
乳がん	6921人	78.6	1012人	22.5 (女性)
肝臓がん	3130人	35.5	2118人	24.5

がん診療連携拠点病院の情報

都道府県がん診療連携拠点病院 1施設
・大阪国際がんセンター 500床

地域がん診療連携拠点病院 18施設(小児1施設含む)

◎地域がん診療連携拠点病院	病床数		病床数
大阪大学医学部附属病院	1086	市立岸和田市民病院	400
市立豊中病院	563	和泉市立総合医療センター	307
大阪医科薬科大学病院	903	大阪公立大学医学部附属病院	965
関西医科大学附属病院	797	大阪市立総合医療センター	1063
地方独立行政法人市立東大阪医療センター	520	大阪赤十字病院	883
八尾市立病院	380	独立行政法人国立病院機構大阪医療センター	605
近畿大学病院	929	地方独立行政法人大阪府立病院機構	865
独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター	430	大阪急性期・総合医療センター	
独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院	678	◎小児がん拠点病院	
堺市立総合医療センター	487	大阪市立総合医療センター	1063

大阪府がん診療拠点病院（府独自指定）計48施設

※重複して指定を受けている施設はそれぞれ1施設とカウント

◎大阪府がん診療拠点病院	病床数		病床数		病床数
市立池田病院	364	社会福祉法人豊明財団済生会支部 大阪府済生会富田林病院	260	公益財団法人日本生命済生会 日本生命病院	350
地方独立行政法人市立吹田市民病院	431	医療法人宝生会 PL病院	370	宗教法人在日本プレスビテリアンミッション 淀川サリスト 教病院	581
社会福祉法人豊明財団済生会支部 大阪府済生会吹田病院	440	医療法人春秋会 城山病院	299	社会医療法人愛仁会 千船病院	308
社会福祉法人豊明財団済生会支部 大阪府済生会千里病院	343	医療法人徳州会 松原徳州会病院	249	独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪病院	565
箕面市立病院	317	社会医療法人生長会 ベルランド 総合病院	477	社会医療法人きつこう会 多根総合病院	304
社会医療法人愛仁会 高槻病院	477	社会医療法人同人会 耳原総合病院	386	社会医療法人景岳会 南大阪病院	400
医療法人仙養会 北摂総合病院	217	社会医療法人生長会 府中病院	380	西日本旅客鉄道株式会社 大阪東道病院	303
日本赤十字社 高槻赤十字病院	335	地方独立行政法人りんくう 総合医療センター	388	医療法人橘会 東住吉森本病院	329
社会医療法人東和会 第一東和会病院	243	市立貝塚病院	249	社会福祉法人豊明財団済生会支部 大阪府済生会泉尾病院	440
パナソニック健康保険組合 松下記念病院	323	医療法人徳州会 岸和田徳州会病院	341	地方独立行政法人大阪府民病院機構 大阪市立十三市民病院	263
関西医科大学総合医療センター	477	社会医療法人警和会 大阪警察病院	580	◎大阪府がん診療拠点病院（肺がん指定）	
社会医療法人美杉会 佐藤病院	177	国家公務員共済組合連合会 大手前病院	401	独立行政法人国立病院機構 刀根山医療センター	410
市立ひらかた病院	335	関西電力病院	400	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪びびきの医療センター	405
医療法人徳州会 八尾徳州会総合病院	415	公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院	687	独立行政法人国立病院機構 近畿中央呼吸器センター	385
医療法人若弘会 若草第一病院	230	社会福祉法人豊明財団済生会支部 大阪府済生会中津病院	670	◎大阪府小児がん拠点病院	
医療法人藤井会 石切生喜病院	331	社会福祉法人豊明財団済生会支部 大阪府済生会野江病院	400	大阪大学医学部附属病院	1086
市立柏原病院	220	一般財団法人 住友病院	499	大阪母子医療センター	375

大阪府のがん医療提供体制

●がん診療拠点病院 計66施設:全国で最多

国指定 がん診療連携拠点病院 18施設

大阪府指定 大阪府がん診療拠点病院 48施設

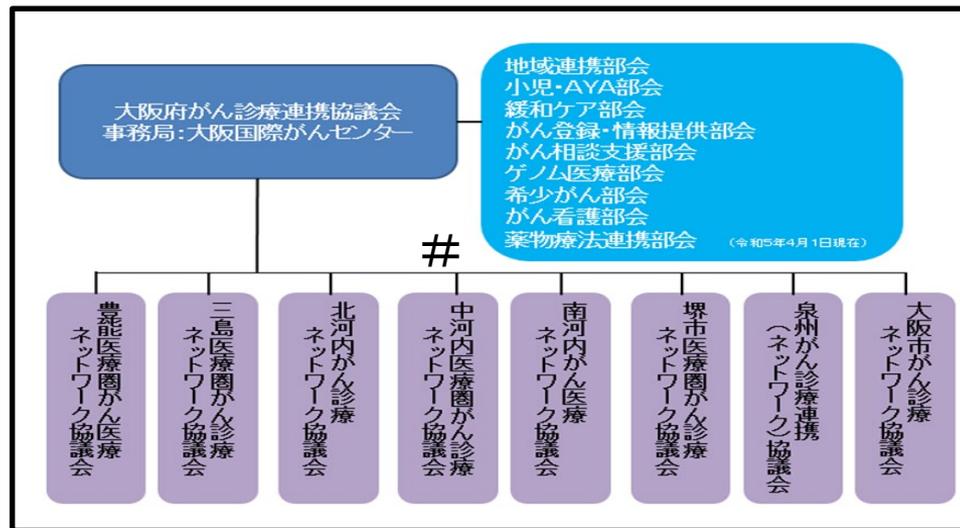
●拠点病院相互訪問

平成27(2015)年度より、大阪府がん診療連携協議会の事務局である大阪国際がんセンターが中心となり、国指定、府指定の**がん診療拠点病院を相互に訪問**し、各施設間における状況について、意見交換等を実施し、好事例の収集

●がん医療連携体制

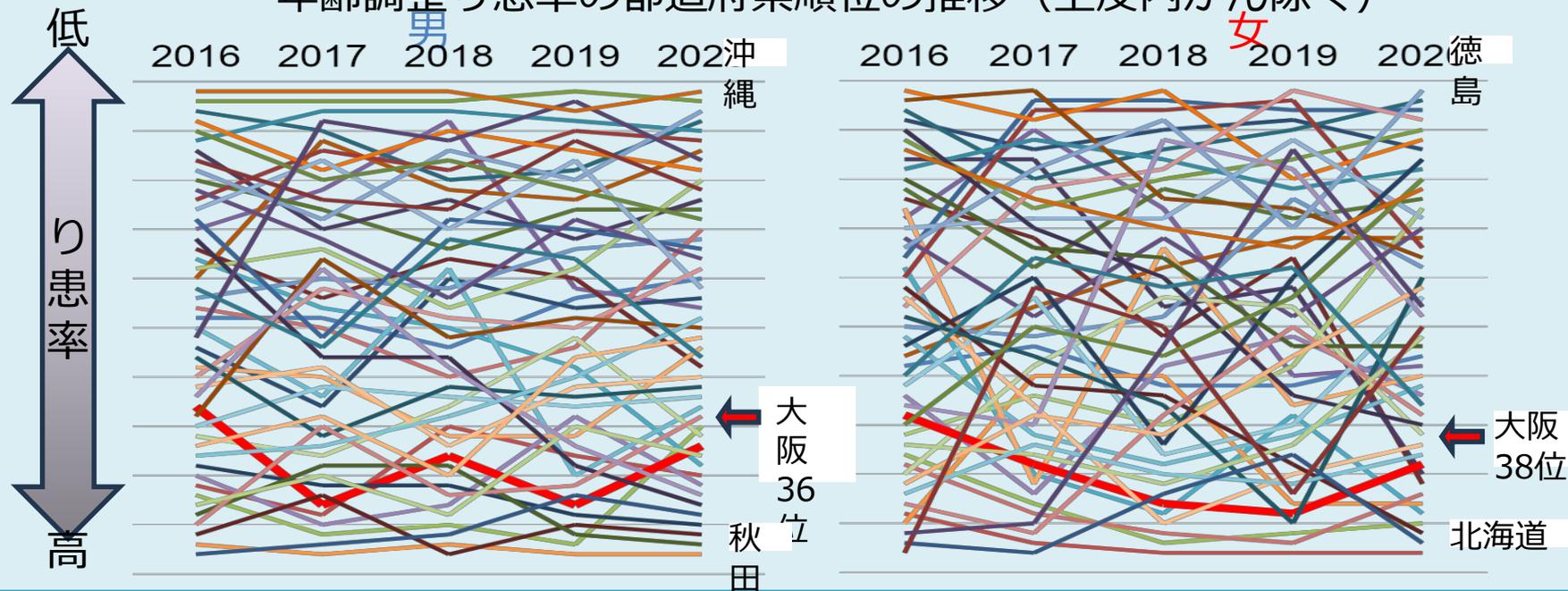
がん診療拠点病院等で構成する「**大阪府がん診療連携協議会**」や、二次医療圏をもとに設置する「**がん診療ネットワーク協議会**」において、がん診療連携体制の充実、緩和ケア研修、相談支援機能の充実、地域連携の普及促進を模索している

●大阪府がん診療連携協議会とがん診療ネットワーク協議会



都道府県におけるがん医療の特性

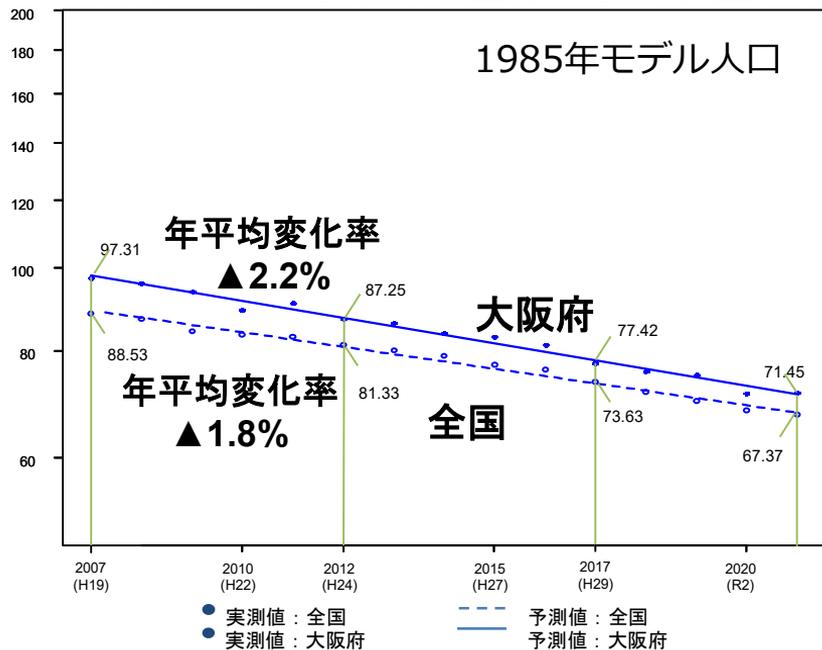
年齢調整り患率の都道府県順位の推移（上皮内がん除く）



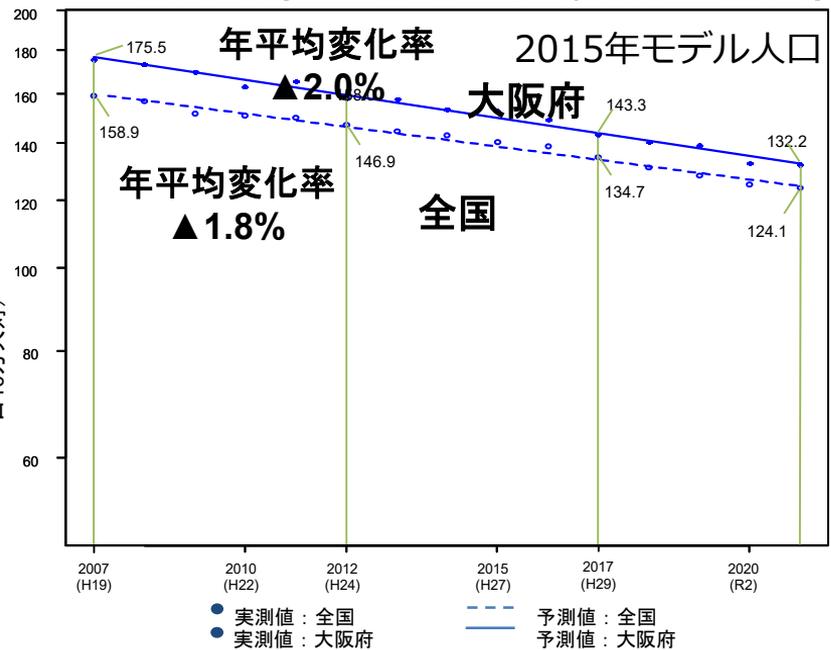


がんの年齢調整死亡率（全部位、男女計、75歳未満）の推移（大阪府・全国）

75歳未満年齢調整死亡率（人
口10万人対）



75歳未満年齢調整死亡率（人
口10万人対）

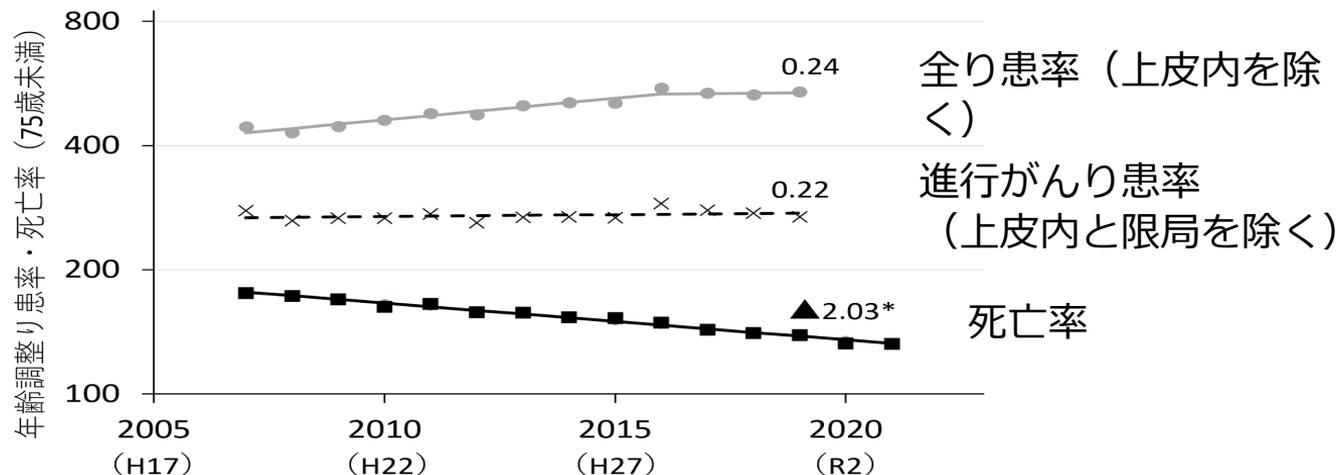


出典：国立がん研究センターがん情報サービス・国勢調査に基づく人口推計
方法：年平均変化率はSEER提供のjoinpointソフトウェアを用い算出。

第4期計画P.9より抜粋

年齢調整り患率と死亡率の推移 (全部位、男女計、75歳未満)

出典：大阪府がん登録



第4期計画P.12より抜粋



大阪府におけるがん医療の特性

- ・がん診療連携拠点病院（国指定18＋府指定48）の数が全国一多い。
- ・中核病院（がんセンター、大学病院等）、ハイボリュームセンター、ゲノム医療中核拠点病院等が多数存在する。
- ・移動時間30分以内で、居住地二次医療圏内のがん拠点病院に受療可能な体制が整備されている。
- ・交通網が発達しているため、大阪府内で希望する病院

病院名：大阪国際がんセンター

都道府県名：大阪府

都道府県におけるがん化学療法の現状と課題

【現状】

- 1)がん拠点病院の中でも特にがんセンター、大学病院、地域中核病院に患者が集中する傾向がある。
- 2)国指定と府指定の間で、また国指定拠点病院の中でもがん薬物治療症例数の格差が大きく、共通の問題点を抽出することが困難である。
 - ▶1か月間の外来化学療法実施件数： 国指定で400-2244件
府指定で24-864件

【課題】

各拠点病院の化学療法に関する問題点やその対応策を提示して頂き、拠点病院全体で情報交換や対策検討を行う場を設定する。

研修の概要

[タイトル]

がん薬物療法に関する多職種交流会

[目的]

サブテーマに関する各施設の課題や対策等を情報交換する。

[対象者・人数]

国指定がん診療拠点病院（18施設）から代表者1～2名に参加頂く。

[目標]

一般的目標（GIO）

国指定がん診療連携拠点病院の代表者が、サブテーマに関して大阪府内のがん拠点病院の現状・問題点を把握して、問題解決に役立ちそうなアイデアを持ち帰って頂く。

到達目標（SBO）

国指定がん診療連携拠点病院の代表者が、2次医療圏の府指定のがん診療拠点病院と上記の情報を共有して日常診療に役立てて頂く。



研修の評価

【実施評価】

交流会の間隔、次回の参加メンバーの人数や職種の希望を交流会の最後にアンケートをとる。また、今回のサブテーマに関する参加者の満足度もアンケートをとる。

【結果評価】

今回のサブテーマに関して、各施設に持ち帰って頂き、役立ちそうな情報やアイデアがあったか、交流会の最後にアンケートをとる。

【企画評価】 交流会の企画・構成が妥当であったかを、交流会の最後にアンケートをとる。また、次回の交流会で取り上げてほしいサブテーマをアンケートする。

セッション1：がん薬物療法に関する多職種交流会

日時：2025年5月19～30日のいずれか：16時頃～

場所：大阪国際がんセンターに提出1階講堂

セッティング：一般的なセッティング、プロジェクターなど

担当：大阪府がん診療連携協議会の薬物療法連携協議会、がん看護部会、がん相談支援部会のスタッフ

用意するもの：事前アンケートに総括資料

【学習目標】サブテーマに関して大阪府内のがん拠点病院の現状・問題点を把握して、問題解決に役ちそうなアイデアを持ち帰って頂く。

【事前準備】2025年1月にオンライン説明会：企画の説明、施設代表者の選出依頼、第1回目のサブテーマ(irAE)に関するアンケートの依頼

【会場準備】一般的なカンファレンスの準備

【すすめ方】1) アンケートの集計を報告、2) 先進的な取り組みをしている病院があれば、個別に発表。3) パネルディスカッション、または、全体でのディスカッション？ 4) 当日の交流会に対する評価アンケート、次回のサブテーマのアンケート

【セッションでの留意点】あまり長時間の交流会にならないように資料をコンパクトにまとめる。各施設が共通に持つ問題点をサブテーマに取り上げて、参加したくなる会を企画する。